

## No.14 歴史・文化及びスポーツの振興〈文化・スポーツ〉 （人権・社会教育課）

### 令和5年度までにめざす姿

- ①里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。
- ②スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。

### 令和元年度にめざした成果

- ①様々な文化財を保護し活用することで郷土の良さを再確認し、ふるさとへの愛着力を高めます。
- ②総合型地域スポーツクラブを核とする社会体育推進体制の整備促進を図ります。

### 令和元年度にめざした活動

- ①法勝寺電車の活用を促進します。  
文化財保存会の活動を支援します。
- ②理事会等を開催し、検討を行います。

### 令和元年度の成果

- ①文化財と関わったり、理解を深めている町民の絶対数は増えています。→若年層は教育の中で伝えてきた文化が少しずつ定着しています。
- ②社会体育推進体制の整備について、理事会等で協議を進めています。

### 令和元年度の問題

- ①文化財の範囲が広く、町民は興味を持つ分野で大別されており、相互の理解をする段階には至っていません。
- ②新たな体制での変更点について、調整が必要です。

## 令和2年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①行事やまつりに合わせ、地域の文化財を知っていただけるような取組を行います。学校のふるさと教育の取組を継続して行います。
- ②社会教育推進体制の整備について、理事会等での協議を継続し合意形成を図ります。

### (2) 解決すべき問題への方策

- ①文化財資料の総量を確認し、必要な収納スペースを確保できるよう検討します。
- ②関係機関と協議調整を図ります。

### (3) 新たに取組む方策

- ②関連する予算や要綱・規則等の整備を行います。